平成27年 3月26日

教 職 員

各 位

学 生

施設担当理事

「金沢大学角間キャンパス交通規制の実施について」
の改正について(お知らせ)

標記の件につきまして、平成27年4月1日より下記のとおり改正されますのでお知らせします。

当該規制の遵守にご協力をお願いします。

記

- 1 金沢大学中央交差点から総合教育棟間の構内道路について、歩行者の安全確保を図るため、一切の自動車(自動二輪車及び原付バイクを含む。)の中央交差点方面からの進入を終日禁止する。(別紙1)

担当:施設部施設企画課

TEL 076-264-6180 6181

平成15年4月

平成18年3月(改正)

平成24年1月(改正)

平成26年3月(改正)

平成27年3月(改正)

教 職 員

各位

学 生

金 沢 大 学

金沢大学角間キャンパス交通規制の実施について

本学では、教育、研究にふさわしい環境保全と交通事故防止のため、各キャンパスにおいて交通規制を実施しています。角間キャンパスにおいて、下記のとおり交通規制を実施しています。

角間キャンパスは県道金沢・井波線が横断し、頻繁に一般車両が通行していることや、坂が多い道路であることから、特に交通安全・事故防止には一層の注意してください。

通学にはできるだけ公共の交通機関を利用し、自動車及びバイク通学は自粛してください。

違反者に対しては断固とした措置(懲戒処分等)を行います。

記

- 1 角間キャンパス内は交通安全・事故防止のため、構内道路の最高速度制限は時速 20km である。

横断歩道、交差点、カーブでは徐行する。特に加速しやすい下り坂では、スピードに十分注意する。

駐車場内では、歩行者や駐車車両に十分気をつけて、最徐行運転を行うこと。

- 2 金沢大学中央交差点より総合教育棟に向かう構内道路は歩行者の安全を図るため、自動車及びバイクの進入を終日禁止する。

3 角間キャンパスへ自動車(二輪車を除く。)で入構するためには、駐車許可証, 臨時駐車許可証又は臨時駐車承認証のいずれかの交付を受け, フロントガラスから見えるところに置き, 指定された場所に駐車すること。

ただし, 12月1日から翌年3月31日までの期間は, 積雪により駐車許可証が見えなくなるため, 駐車許可証をルームミラーに吊すこと。

4 角間キャンパス内では自転車及びバイクの二輪車は, 指定された場所に駐車すること。

指定場所以外での二輪車の駐車を禁止する。
特に冬期間は除雪の支障となるため, 二輪車の長期間の放置は厳禁する。

5 入構許可を受けていない自動車の構内全域における駐車を禁止する。

また, 入構許可を受けた自動車についても, 駐車場外(県道, 市道, 構内道路, バス停留場及びその出入口付近, 駐車場進入路, 各建物へのサービス道路等)での駐車を禁止する。

6 駐車場内においては, 駐車目的以外の利用(暴走行為等を含む。)を禁止する。

7 各部局等のアカデミックゾーン内へは, 騒音を少なくし, 歩行者の安全を図り, 又, 緊急車両の活動を阻害しないため, 自動車及び二輪車の進入を禁止する。

ただし, タクシー, 重量物運搬車, 駐車禁止除外認定車, 公用車は除く。

8 冬期間(積雪時)には交通事故防止等のため自動車及び自転車・バイクの二輪車の通学は自粛すること。

駐車場の確保, 除雪のため, 冬期に夜間(翌朝まで)駐車する場合は, 指定場所(夜間駐車場所)に駐車すること。

9 違反車に対しては, 教職員及び大学から委託された業者がキャンパス内を巡回し, ナンバー等を記録して, 警告書, 又は警告ポールを取り付ける。

違反者の負担において, レッカー車による強制移動等の措置を行う場合がある。

特にアカデミックゾーン内の駐車違反は, 緊急車両の活動を阻害するため, 警告書, 又は警告ポールを取り付けることなくレッカー車による強制移動等の措置を行う場合がある。

警告書, 警告ポールの取り付けは, 別紙2「警告書及び警告ポールの取り付け, 取り外し基準」により行う。

10 警告ポールは, 取り付け後, 1週間は解錠しない。解錠の当日が休日にあたる場合は, 休日明けの日とする。警告ポールを解錠する際に提出させる念書は, 所属の学生生活委員会及びアドバイス教員の押印を必要とし, 押印の無いものは解錠しない。

警告書及び警告ポールの取り付け、取り外し基準

角間キャンパス内の駐車違反車両に対する警告書及び警告ポールの取り付け、取り外しは下記による。

記

1. 1回目の違反の場合

- 警告書を貼る。
車両番号を記録する。

2. 2回目の違反の場合

- 警告書を貼る。
車両番号を記録する。
次回違反した場合、各部局に連絡する旨の予告をする。

3. 3回目の違反の場合

- 警告書を貼る。
各部局の学生担当及び教職員担当に連絡し、呼び出しを行うとともに、注意喚起を行う。
なお、駐車許可証のない車については、車両番号を国土交通省運輸支局、又は軽自動車検査協会に照会し、氏名を特定する。照会に要した費用は、違反者の負担とする。
次回違反した場合、警告ポールを取り付ける旨の予告をする。

4. 4回目の違反の場合

- 警告ポールを取り付ける。
取り付け後、1週間は取り外さない。
取り外しは、学生においては、学生生活委員、アドバイス教員の承認（念書等）を得て取り外す。
教職員においては、所属の長の承認を得て取り外す。